

大阪市代表団
サンフランシスコ市訪問記録

x 大阪市代表団 サンフランシスコ市訪問記録

大阪市代表団のサンフランシスコ市訪問

1. 訪問目的 大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携 50 周年記念行事への出席及び交流事業の実施

2. 訪問期間 2007 年 9 月 6 日（木）～9 月 11 日（火） 6 日間

3. 大阪市代表団メンバー

※別途大阪市代表団、市民団等の自主参加を得て記念事業に参加（別添名簿参照）

市長	關 淳一
経営企画監	京極 務
市長室都市間交流担当課長	西島 政夫
市長室担当係長	植田 壮彦
市長室担当係長	高田 智子

4. 事業一覧

- (1) サンフランシスコ市長表敬訪問
- (2) サンフランシスコ市・サンフランシスコ大阪姉妹都市協会主催姉妹都市提携 50 周年記念レセプション出席
- (3) カリフォルニア大学サンフランシスコ校訪問
- (4) 大阪セミナーにかかるパワーランチ
- (5) 大阪セミナー開催
- (6) JCCCNC（北カリフォルニア日本文化コミュニティセンター）訪問
- (7) 「OSAKA WAY」の除幕式出席・サンフランシスコお盆祭り参加
- (8) サンフランシスコ・ジャイアンツ対ロサンゼルス・ドジャーズ戦での大阪PR
- (9) 本市主催市民交流レセプション開催
- (10) サンフランシスコ国際空港

大阪市代表団名簿

(団 長)	大阪市長	關 淳一
	市長夫人	關 洋子
(団 員)	経営企画監	京極 務
	市長室都市間交流担当課長	西島 政夫
	市長室担当係長	植田 壮彦
	市長室担当係長	高田 智子
	シカゴ事務所長<現地にて合流>	鳥山 孝之
【別途、都市プロモーションとして】		
	計画調整局都市プロモーション担当課長	田中 利光
	計画調整局情報発信担当課長代理	堀 眞琴

<参考>

【大阪市会代表団】

(団 長)	大阪市会議長	足高 將司
(団 員)	大阪市会 運営理事 (自由民主党・市民クラブ)	床田 正勝
	大阪市会 運営理事 (公明党)	青江 達夫
	自由民主党・市民クラブ 大阪市会議員団幹事長	新田 孝
	民主党・市民連合 大阪市会議員団幹事長	松崎 孔
	公明党 大阪市会議員団幹事長	小笹 正博
(随 行)	市会事務局長	阿辻 豊
	市会事務局総務担当課長代理	山下 信幸

【市民団 (市民参加者)】

竹内 俊隆	大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携 50 周年記念事業実行委員会 ワーキンググループ座長 (大阪外国語大学教授)
待田 修	同ワーキンググループメンバー
玉地 俊雄	同ワーキンググループメンバー
南 久美子	同ワーキンググループメンバー
乾 彪	同ワーキンググループメンバー
芳賀 直美	大阪・ハンブルグ姉妹都市協会会員
芳賀 和子	大阪・ハンブルグ姉妹都市協会会員
河野 英樹	大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携 50 周年記念事業実行委員会 ワーキンググループメンバー (住之江区企画調整担当課長)

【民間企業参加者 (大阪セミナー ゲストスピーカー)】

井上 俊幸	三菱地所株式会社 ビル事業本部 ビル開発企画部 副長
松本 敬介	大阪商工会議所経済産業部ベンチャー振興担当
石塚 滋樹	株式会社 NTT ドコモ関西取締役 ソリューションビジネス本部長 ソリューション企画部長
住田 弘之	関西国際空港株式会社 お客様本部航空営業部長

5. 事業概要

(1) サンフランシスコ市長表敬訪問

日 時：9月6日（木）15:00～16:00

場 所：サンフランシスコ市役所

出席者：ギャビン・ニューソム サンフランシスコ市長
アレン・オカモト サンフランシスコ・大阪姉妹
都市協会共同委員長
キャサリン・キムラ サンフランシスコ・大阪
姉妹都市協会共同委員長
關 淳一 大阪市長
足高 将司 大阪市会議長 他 約60名

概 要： サンフランシスコ市役所前で市会代表団、市民団
の方々とは合流したのち、全員セキュリティチェッ
クを受け庁内へ入った。サンフランシスコ市役所

では当初、市長と議長は市長執務室でニューソム市長に面会し、その後インターナショナルで他の者と合流する予定であったが、ニューソム市長の前の予定がおしていたため、最初から全員インターナショナルルームに通された。表敬訪問は、本市で行っているような着席式のものではなく、「サンフランシスコ・スタイル」で行われた。シナリオもなく、立席式で各人が思い思いに交流を始めるというスタイルで、軽食・飲み物も供されていたため立食式の交流会さながらであった。

まず、ニューソム市長、關市長、足高議長からそれぞれ挨拶がなされ、両市における50年にわたる友好関係を今後も継続していくことを宣言するとともに、今後のグローバル化の中でより重要度を増すであろう都市と都市との関係強化について互いに再確認した。続いて、關市長からは大阪城と銀杏をかたどった大阪欄間が手渡され、ニューソム市長からはサンフランシスコ市庁舎の絵が描かれた木箱に入ったワインとワイングラスのセットが贈られた。サンフランシスコ側には、本年2月にニューソム市長とともに来阪した代表団のメンバーが多数含まれており、サンフランシスコでの再会を喜ぶ声や、来阪時の話などで、会場の至るところで盛り上がりを見せていた。サンフランシスコ市側から事前予告のあった「サンフランシスコ・スタイル」の表敬は、一人一人が交流の主体であることをも伺わせ、会場は終始賑やかであった。



(2) サンフランシスコ市・サンフランシスコ大阪姉妹都市協会主催姉妹都市提携50周年記念レセプション出席

日時：9月6日（木）18:30～22:00

場所：ミヤコホテル インペリアル・ルーム

主催：サンフランシスコ市、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会

出席者：ギャビン・ニューソム サンフランシスコ市長

アレン・オカモト サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会共同委員長

キャサリーン・キムラ サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会共同委員長

關 淳一 大阪市長

足高 将司 大阪市会議長 他 約200名

概要： サンフランシスコ市とサンフランシスコ・大阪姉妹都市協会主催の大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念レセプションに出席した。会場はジャパントウン内にあるミヤコホテルで、ニューソム市長のほか、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会員を中心とするサンフランシスコ市民、これに、大阪からの訪問団約30名が加わり、総勢200人以上が出席する、着席式のレセプションとしては大規模なものであった。

大阪からの訪問団には、大阪市代表团、大阪市会代表团、大阪市民団のほか、7日の大阪セミナーでの講演者である民間企業の方々にもご参加いただいた。ニューソム市長からは、關市長をはじめとする大阪からの一行を歓迎する辞があり、關市長からは、2月の来阪時にニューソム市長から示された『サプライズ』にもふれ、50周年を契機として両市の友好関係がさらに深まりを増していることを確信していると述べられた。

引き続き、ニューソム市長から關市長に対してサンフランシスコ市の鍵が贈られ、關市長からニューソム市長へは、ロボカップに4連覇中のチーム大阪が誇るロボット「Vision」を型どったタイムカプセルが贈呈された。

この後、鏡開きが行われたほか、市のこれまでの50年の歴史を辿るスライド上映が行われた。レセプションの終盤には、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会の発足当時から活動しているハツロウ・アイザワ氏、アレクサンダー・カルホーン氏、スティーブン・ドイ氏、リチャード・ヘギー氏の4人に対し終身会員賞が贈られた。



【次 第】

アンサンブル Shiki (ノリコ・ミウラ指揮) によるコーラス

挨拶

キャサリーン・キムラ サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会共同委員長

ギャビン・ニューソム サンフランシスコ市長

關 淳一 大阪市長

足高 将司 大阪市会議長

山口 一義 在サンフランシスコ日本総領事代理

鏡開き

50周年スライド・ショー

表彰

ハツロウ・アイザワ

アレクサンダー・D・カルホーン

スティーブン・J・ドイ

リチャード・ヘギー

閉め

アレン・オカモト サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会共同委員長

(3) カリフォルニア大学サンフランシスコ校訪問

日 時：9月7日（金）9:30～11:00

場 所：カリフォルニア大学サンフランシスコ校

主 催：サンフランシスコ市、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会

出席者：ダグラス・クロフォード カリフォルニア量子生医学研究所産業同盟部長

トッド・S. ミラー サンフランシスコ・ベイエリア アレキサンドリア不動産副会長補佐

ホアンキン・アルバラード 次世代インターネット研究所 部長

關 淳一 大阪市長 他

概 要：

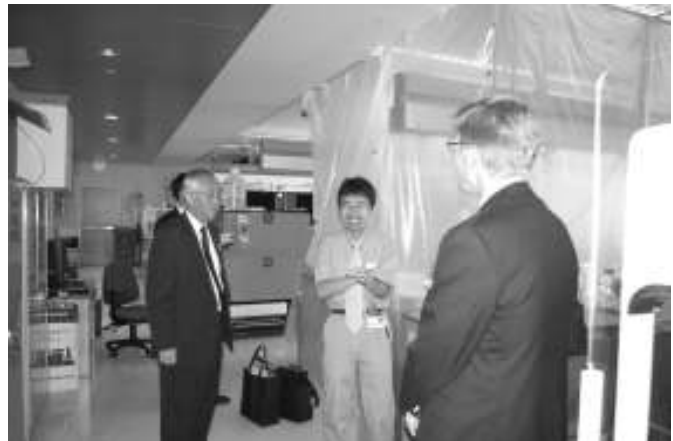
【カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）について】

カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）は、カリフォルニア州サンフランシスコ市に本部を置くアメリカの州立大学である。カリフォルニア大学群の一枚であり、同大学ロサンゼルス校（UCLA）、バークレー校（UCB）はサンフランシスコ校の姉妹校である。

サンフランシスコ校は主に医学分野を専門にした大学院大学であり、学部は大学院のみで、医学大学院、薬学大学院、看護大学院、歯学大学院等がある。

現在、サンフランシスコ市内に4つのキャンパス（大学病院を含む）及び多数の施設を置いて

おり、市の運営する病院やその他あらゆる研究機関などとの連携を図っている。国際的な医療機関であり、世界で初めてのDNAの組み換え技術の発見や世界で初めての胎内児の手術成功等、あらゆる‘Firsts（最初）’を自負にしている。



【バイオテクノロジー・アーカイブスについて】

バイオテクノロジー・アーカイブスは、カリフォルニア大学の貢献やサンフランシスコとバイオテクノロジー産業の開発を文書化するために設置された。現代の記録を維持することで、学界から工業に至るまで、バイオテクノロジーの成長と知識の急速な普及を目指している。

【カリフォルニア大学（UC）の産学連携の取組み】

カリフォルニア州が、第2、第3のシリコンバレーとなる産業クラスターを形成するために設立した産学連携プロジェクトの研究拠点がCISI（California Institutes for Science and Innovation）である。CISIは、重点4分野（バイオ、IT、ナノテク、IT in the Interest of Society）の4研究機関から構成され、4機関それぞれについて、UC各校の中から研究を担当する協力校が決められ、運営されている。

なかでも、バイオ分野の研究機関であるQB3（※）はUCサンフランシスコにあり、UCバークレー（UCB）、UCサンタクルーズ（UCSC）の2校が協力校としてサポートしている。

（※ 定量生物化学研究所：Quantitative Biotechnology 最後の3はUCSF、UCB、UCSCの3大学を意味）

研究内容は、バイオメディカルと他領域との融合、特に数学、物理、化学、工学との融合研究を行うことにより、次のバイオ革命をリードしようというものである。例えば、バイオインフォマティクス（生命現象を情報の流れとして捉え、情報解析の手法を用いることによって生命現象を解析するという立場の生物学分野）は、バイオメディカルとITの融合であり、これがバイオ研究で大きな注目を集めている。こうした学際性を重視したバイオ研究のリード役となるのがUCSF、UCB、UCSCの3校である。

このように、UCSFは米国最大のバイオクラスターを形成するサンフランシスコ・ベイエリアの中核的存在である。米国バイオ産業の原点と言われるジェネンティクス社は1976年にUCSFボイヤー教授のDNA技術を企業化したものであり、現在のバイオ企業の多くがジェネンティクス社の技術から派生しているとされる。このUCSFのバイオメディカルをベースに、協力校で

あるUCBが物理、工学、UCSCが数学的アプローチからサポートしている。

【その他】

- ・サンフランシスコ市はバイオテクノロジーに関して戦略を持った都市であり、UCSFの敷地のうち、43エーカーは市が寄付した。
- ・ミッションベイは10年前倉庫や鉄道会社跡地に州政府・サンフランシスコ市・企業の連携によって進められている都市開発で、UCSFはバイオ研究機関であるQB3の中心となっており、その協力校がUCバークレー(UCB)・UCサンタクルーズ(UCSC)の2校である。QB3の目的は科学的研究とその商業化であるが、その成果として、全米のバイオテクノロジー会社の1/4がこのバイオベイに集中している。
- ・UCSFでは、コンピュータでの研究が主体で、タンパク質の構造や病気に対する新薬開発等の半分以上がコンピュータによるという画期的な手法を用いている。新薬開発の方法のほか開発費用の削減等もコンピュータにより研究を進められている。
- ・UCSFの職員は現在2,000人であるが、将来は1万人になる予定、大学以外にも3つ病院があるほか、一般会社のビルもあり、企業研究ラボやベンチャキャピタル会社やバイオ企業に入居している。



(4) 大阪セミナーにかかるパワーランチ

日 時：9月7日（金）12:30～14:00

場 所：ミヤコホテル

主 催：大阪市

出席者：三菱地所（株）ビル事業本部ビル開発企画部 井上 俊幸 副長
大阪商工会議所経済産業部ベンチャー振興担当 松本 敬介氏
NTTドコモ関西（株）石塚 滋樹 取締役

関西国際空港（株）お客様本部 住田 弘之 航空営業部長
パシフィック・ビジョン・パートナーズ コンサルタント エドワード・イフシン氏
關 淳一 大阪市長 他 計14人

概 要：大阪セミナー実施にかかる最終意見交換・調整

(5) 大阪セミナー開催

日 時：9月7日（金）15:15～18:00

場 所：ミヤコホテル インペリアル・ルーム

主 催：大阪市

出席者：マーク・チャンドラー サンフランシスコ市 国際交易部長
ホアンキン・アルバラード 次世代インターネット研究所 部長
井上 俊幸 三菱地所（株）ビル事業本部ビル開発企画部 副長
松本 敬介 大阪商工会議所経済産業部ベンチャー振興担当
石塚 滋樹 NTTドコモ関西（株）取締役
住田 弘之 関西国際空港（株）お客様本部 航空営業部長
關 淳一 大阪市長 他

参加者：78名（各自1部資料配布）

概 要： 大阪市での創造機能強化に向け、大阪市の都市再生と創造都市づくりへの取組の紹介をはじめ、大阪市と関連企業の代表が官民協同でプレゼンテーションを実施。セミナーへの反応は概ね好評で、名刺交換会では、關市長の前には行列が出来ていた。セミナー終了後は会場を移しての意見交換会を行ったが、大阪府がサンフランシスコで異業種交流会を主催したと捉えられたこともあり、こちらも非



常に好評を博した。

なお、セミナー実施前に、日本人コミュニティ経由でサンフランシスコ・クロニクルという地元の高級紙から取材要請があり、關市長の単独インタビューが実施された。

(第1部) プレゼンテーション 15:15～17:00

- ・司会及び歓迎スピーチ (5分)
マーク・チャンドラー サンフランシスコ市 国際交易部長
- ・「大阪の都市再生及び創造都市について」 (10分)
關 淳一 大阪市長
- ・「大阪駅北地区におけるナレッジ・キャピタル・プロジェクトについて」 (20分)
井上 俊幸 三菱地所(株) ビル事業本部ビル開発企画部 副長
- ・「大阪商工会議所情報家電ビジネスパートナーズ事業について」 (15分)
松本 敬介 大阪商工会議所経済産業部ベンチャー振興担当
- ・「モバイルサービスを通じたデジタルコンテンツ開発について」 (20分)
石塚 滋樹 NTTドコモ関西(株) 取締役
- ・「サンフランシスコにおける次世代のインターネット環境について」 (20分)
ホアンキン・アルバラード 次世代インターネット研究所 部長

(第2部) カクテルパーティー 17:00～18:00

- ・質疑応答や意見交換を通し、ネットワークを形成するための軽食レセプション

(6) JCCCNC (北カリフォルニア日本文化コミュニティセンター) 訪問

日時：9月8日(土) 10:30～13:00

場所：JCCCNC (北カリフォルニア日本文化センター)

出席者：ドナ・コタケ JCCCNC 理事長

ポール・オオサキ JCCCNC専務理事

關 淳一 大阪市長 他

概要： JCCCNC (北カリフォルニア日本文化コミュニティセンター) は、日本人を祖先に持つアメリカ人を中心とした日系アメリカ人のコミュニティ団体で、1973年カリフォルニア州においてNPO団体として承認された。ボランティアは370人、北カリフォルニア全域に在住する会員、参加者は6,000人以上にのぼる。大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念事業の主要メンバーであり、1997年からは、毎年、日米親善中学生バスケットボール交流による相互派遣を行い、バスケットボールの親善試合やホームステイを

通じた国際親善を目指している。

長年にわたって培われたNPO団体の取組みに直にふれられる貴重な機会であるため、当日は、市民団の方々にも参加いただき、参加者全員が自己紹介し、意見交換を行った。

關市長は、都市と都市との関係が重視されるなか、市民と市民のつながりもますます重要になってきており、JCCNCが設立した今から30年以上前にはそのような考えには至っていなかった大阪でも、50周年記念事業ではヨット「夢ひょうたん」のサンフランシスコ訪問など、市民の自主的な取組みが実現するようになったと述べた。

一方、JCCNC側からも、日米親善中学生バスケットボール活動などを通じ、大阪にも徐々にその精神は伝わってきていると感じているとの意見が寄せられた。意見交換の後、日本語のパソコン操作を習得する教室をはじめ、施設や同センターでの活動の様子を視察したほか、JCCNC主催のランチミーティングが行われ、大阪、サンフランシスコ両市民による直接的な市民交流が行われる有意義な訪問となった。



(7) 「OSAKA WAY」の除幕式出席・サンフランシスコお盆祭り参加

日時：9月8日（土）17:30～20:30

場所：ジャパントウン（ブキャナン通付近）

主催：サンフランシスコ市、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会

出席者：ギャビン・ニューソム サンフランシスコ市長

ロス・マーカリーミー議員

關 淳一 大阪市長

足高 将司 大阪市会議長 他

概要：2007年2月、ニューソム市長をはじめとするサンフランシスコ代表団が大阪市役所を訪れた際、ジャパントウン内にあるブキャナン通を「OSAKA WAY（大阪通）」と改名するとの発表があった。今回、關市長をはじめとする大阪市代表団のサンフランシスコ訪問の機を捉え、両市の友好のシンボルともなった「OSAKA WAY」のプレートの除幕式が実施されることとなった。

關市長は挨拶の中で、「OSAKA WAY」の返礼の意味も込め、両市の友好の証として、中之島公園の中にサンフランシスコを象徴する銘板を設置したいとの発表を行い、サ



ンフランシスコ市民に対するサプライズとなった。

この後、登壇者による鏡割りのほか、除幕、テープカット、渡り初めなどが行われ、「OSAKA WAY」は姉妹都市サンフランシスコ市において、新たな歴史を刻むこととなった。

会場には、大勢のサンフランシスコ市民が詰掛け、大阪からの市民団も含めた訪問団ともに両市の50周年にわたる友好を祝った。

除幕式の後には、同じくジャパントウン内にある五重の塔付近に移動し、そこで行われているお盆祭りに参加したほか、日本町の商店会の方々や日米親善バスケットボール交流で表敬を受けた子どもたちとも歓談するなど、市長ら自らがサンフランシスコ市民と交流を深める場となった。



(8) サンフランシスコ・ジャイアンツ対ロサンゼルス・ドジャーズ戦での大阪PR

日時：9月9日（土）12:30～13:00

場所：AT&T球場

主催：サンフランシスコ・ジャイアンツ財団

出席者：關 淳一 大阪市長

足高 将司 大阪市会議長 他

概要：大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年を記念するとともに、姉妹都市大阪を広くPRするため、サンフランシスコ・ジャイアンツ対ロサンゼルス・ドジャーズ戦の開始前、大阪市からサンフランシスコ・ジャイアンツ財団の少年少女に野球道具を贈呈するセレモニーに關市長、足高議長らが出席した。



(9) 本市主催市民交流レセプション開催

日 時：9月9日（日）18:00～20:00

場 所：ホテル・ニッコー・サンフランシスコ ゴールデンゲート

主 催：大阪市

出席者：アレン・オカモト サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会共同委員長
キャサリーン・キムラ サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会共同委員長
長嶺 安政 在サンフランシスコ日本総領事
關 淳一 大阪市長
足高 将司 大阪市会議長 他 約100名

概 要： サンフランシスコ市、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会をはじめ、今回の訪問や大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念事業でご尽力いただいた方々を招待し、大阪市会と共催で市民交流レセプションを行った。9月4日に大阪で着任表敬された長嶺在サンフランシスコ日本総領事ご臨席のもと、両市民の友好親善を一層深めるとともに、10月に予定している大阪での食の交流事業での再会を約束した。



(10) サンフランシスコ国際空港訪問

日 時：9月10日（月）10:30～11:00

場 所：サンフランシスコ国際空港

出席者：ジャクソン・ウォン サンフランシスコ国際空港COO

關 淳一 大阪市長

足高 将司 大阪市会議長 他

概 要： サンフランシスコ国際空港は、関空からの直行便を受け入れるなど、大阪・サンフランシスコ間で重要な役割を担っている。關市長は、ニューソム市長が2月に来阪した際、両市長によってサインされた50周年記念宣言にも観光の項目を入れ合意した経緯があり、産業の中でも観光は今後重要な位置を占めるであろうと述べた。

サンフランシスコ国際空港は市営空港で、経営状態は極めて良好。50%の利益を上げたから市民に還元を行う全米唯一の空港で、既に2,500万ドル（約3億円：訪問時のレート）を還元した。

アメリカの空港は連邦航空局の管制下に置かれているため、市営といえども運営はその基準に従って行われている。ウォンCOOは、過去25年で社長が2人しかおらず、プロの経営者が経営に関わってきたことがこの好実績をもたらしていると考えていると話した。なお、役員、職員は市の職員。また、経営を監視する5人の委員を備えている。

良好な経営に対する関心は高く、出発前の限られた時間ではあったが、大阪側からは活発な質問が寄せられた。

